

## 自然と共に生きる笑顔のまち門川町

門川高等学校 二年 本田 胡華

みなさん、こんにちは。私は門川高校に通っている高校二年生の本田胡華です。

まず、門川高校についての説明をさせていただきます。門川高校は、福祉科と私が所属している総合学科の二つに分かれています。ここから、少し難しくなるのですが、総合学科の中に、食品加工系列、生活科学系列、栽培ビジネス系列、そして私の所属している健康スポーツ系列の四つがあります。健康スポーツ系列では、スポーツに関する学習を通して、健康に過ごすための知識と技術の習得を目指しており、その為の様々な学びを日々深めています。門川高校では、毎年十一月に物を作って売ったり、野菜・果物・花などの販売を行ったりする即売会を実施しています。即売会以外にも、総合探究の時間を使って、保育園でワークショップを行う等の地域交流をしていることもあり、地域との絆が深い学校であると言えると思います。

さて、ここから本題に入りますが、みなさんに一つ質問をしてみたいと思います。

「門川町の自然と言ったら、皆さんは何が頭に浮かびますか？」  
この質問を私の同級生達に尋ねると、

「え、海と山だけやろ。」

と答える人が大半です。しかし、その海と山には、門川町にしかない貴重な生物や素晴らしい観光スポットが存在するのを

知らない人が多くいます。

例えば、乙島と枇榔島はもちろん、桃源郷岬や宮崎県水産物ブランドにも認証された門川金鱧などです。さらに、絶滅危惧種に指定されたカムリウミスズメもこれにあたります。

これらの生き物が生息する豊かな自然環境、これが私達の暮らす町、門川町なのです。

また、乙島にはキャンプもあり、カヌーを楽しめる施設もあります。私は、門川町のことをもっと知ってもらうために、ユーチューブやインスタグラムなどのSNSを利用し、レジャー施設の風景、金鱧の水揚げ風景をアップすることで、「門川町はこんな町でこんなことをしているんだ。」と知ってくれる人が増えるのではないかと考えます。またSNSを使つての発信以外にも、現在、私達は、学校の授業の一環として探究活動をしているので、町の観光パンフレットを作ったり、動画で門川町の漆器を紹介したりするのも、門川町のPRにつながるのではないかと考えました。

そんな門川町で毎年、夏に行われるのが「かどがわ納涼花火大会」です。町の人たちだけでなく、町内外から訪れた約三万人の観客たちが集まったこともあると、過去の広報にも掲載されていました。最大の特徴は、打ち上げ場所が海に面していることから、花火が夜空だけでなく海にも映り込んで、映画のワンシーンのような風景になることです。そんな花火大会を含めた門川町の魅力を、高校生ならではの視点でPRし、盛り上げて華やかな町にしていきたい。私は、そう考えます。

また、門川町の魅力は、観光スポットや自然環境だけではなく、温かい人で溢れているところにもある、と思います。登下校の際、「おはよう。」「こんにちは。」「いってらっしゃい。」「おかえり。」と沢山の門川町の皆さんから、声をかけて頂きます。登校する時は、「今日も一日頑張ろう!」という気持ちになりますし、下校する時は「今日も一日がんばったな。」とその日の出来事を振り返ることができます。登下校の際に、私に声をかけて下さる方々は、私を元気にし、清々しい気持ちにしてくれる、そんな存在です。

門川町は、二〇二四年には、「街の幸福度、住みたい街ランキング」の一位にも選ばれました。それは、町民の皆さんが、温かく優しい人で溢れているからではないだろうか、と感じました。また、門川町民憲章では、「健康な心身を育てましょう」「力いっぱい仕事に励みましょう」「明るくあいさつを交わしましょう」「進んで決まりを守りましょう」「豊かな文化を築きましょう」と五つの目標が掲げられています。門川町民憲章は、単なる言葉ではなく、私たちが町を愛し、よりよい未来を作るための道標です。憲章を大切にし、誇りある門川町を、町民の皆さんと共に、私たち高校生も、高校生ならではの視点でPRし、より豊かな門川町の未来を築いていきたい、と思います。

ご清聴、ありがとうございました。